



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社

コード番号 7246 URL <http://www.presskogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角堂 博茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 小西 久子 TEL 044-276-3901

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 103,465 | 16.1 | 5,948 | 38.1 | 5,961 | 78.0 | 3,579 | 76.7 |
| 29年3月期第2四半期 | 89,078 | △11.2 | 4,306 | △15.1 | 3,348 | △29.4 | 2,026 | △25.6 |

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 4,656百万円（－％） 29年3月期第2四半期 △310百万円（－％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 32.95 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 18.65 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 165,406 | 84,554 | 48.3 | 735.73 |
| 29年3月期 | 160,293 | 80,664 | 47.9 | 706.38 |

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 79,918百万円 29年3月期 76,730百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 5.00 | — | 6.00 | 11.00 |
| 30年3月期 | — | 6.00 | — | — | — |
| 30年3月期（予想） | — | — | — | 6.00 | 12.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 203,000 | 8.8 | 10,600 | 22.7 | 10,500 | 29.6 | 6,300 | 19.7 | 58.00 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期2Q | 114,007,210株 | 29年3月期 | 114,007,210株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 5,383,406株 | 29年3月期 | 5,382,533株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期2Q | 108,624,314株 | 29年3月期2Q | 108,626,019株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下のとおりであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、排ガス規制前の駆け込みにより増加したものの、9月の反動減もあり、前年同期比0.3千台減の45.5千台となりました。輸出は当第1四半期に引き続き低調に推移しました。

小型トラックの国内需要は、買替需要が継続しておりますが、前年同期比0.2千台増の48.9千台に留まり、また、輸出も低調に推移しました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの国内需要は排ガス規制前の駆け込みにより増加し、また、輸出も前年同期に比べ増加しました。

海外の事業環境は、次のとおりであります。

タイ：1トンピックアップトラックのタイ国内需要は堅調に推移しましたが、タイ国内生産台数は輸出の伸び悩みにより減少しました。

米国：自動車の需要は減少しているものの、ピックアップトラック・SUVは好調を維持しました。

中国：建設機械需要は公共投資関連が好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：自動車需要は回復基調にあります。

スウェーデン：欧州の自動車需要は堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,034億65百万円（前年同期比16.1%増）となり、営業利益は59億48百万円（前年同期比38.1%増）、経常利益は59億61百万円（前年同期比78.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億79百万円（前年同期比76.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(自動車関連事業)

当社の普通トラック用部品の生産・販売は、国内向けは堅調に推移し、輸出向けはノックダウン部品が増加したため、前年同期に比べ増加しました。小型トラック用部品の生産・販売は、国内向けは前年同期と同水準となり、また、輸出も産油国向けの不振が続いたことにより減少しました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

タイ：1トンピックアップトラックのTSPKKグループの生産・販売は、現行受注部品の仕向け地拡大による増産等により、前年同期に比べ増加しました。

米国：PK U.S.A., INC.の生産・販売は、ピックアップトラック・SUVが堅調に推移したため、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：PT.PK Manufacturing Indonesiaの中・小型トラック用フレームの生産・販売は、新規受注部品の立上げ等により、前年同期に比べ増加しました。

スウェーデン：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産・販売は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は873億99百万円（前年同期比12.8%増）となり、セグメント利益は66億3百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

(建設機械関連事業)

当社の生産・販売は国内・輸出共に好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。当社子会社協和製作所の生産・販売は、資源価格の上昇による鉱山機械需要の継続等により、前年同期に比べ増加しました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

中国：当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.）と普萊斯工業小型駕駛室（蘇州）有限公司（PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO., LTD.）の生産・販売は好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は169億21百万円（前年同期比43.5%増）、セグメント利益は12億30百万円（前年同期比339.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、1,654億6百万円となり、前連結会計年度末比51億12百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、808億51百万円となり、前連結会計年度末比12億22百万円の増加となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加によるものであります。

純資産は、845億54百万円となり、前連結会計年度末比38億90百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は48.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日（平成29年11月8日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異・平成30年3月期通期連結業績予想の修正および剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,456 | 21,649 |
| 受取手形及び売掛金 | 34,533 | 38,400 |
| 商品及び製品 | 1,351 | 1,216 |
| 仕掛品 | 9,601 | 9,485 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,095 | 1,212 |
| 未収還付法人税等 | 19 | 130 |
| その他 | 3,251 | 3,350 |
| 貸倒引当金 | △10 | △10 |
| 流動資産合計 | 70,297 | 75,435 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,926 | 12,584 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 22,571 | 22,391 |
| 土地 | 31,915 | 31,910 |
| その他（純額） | 10,541 | 10,620 |
| 有形固定資産合計 | 77,954 | 77,507 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 810 | 667 |
| 無形固定資産合計 | 810 | 667 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 1,280 | 1,479 |
| 投資その他の資産 | 10,024 | 10,391 |
| 貸倒引当金 | △74 | △74 |
| 投資その他の資産合計 | 11,230 | 11,796 |
| 固定資産合計 | 89,995 | 89,971 |
| 資産合計 | 160,293 | 165,406 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,834 | 22,834 |
| 電子記録債務 | 5,076 | 6,379 |
| 短期借入金 | 14,360 | 13,739 |
| 未払法人税等 | 909 | 1,273 |
| 賞与引当金 | 3,017 | 2,445 |
| 引当金 | 145 | 59 |
| その他 | 6,742 | 7,850 |
| 流動負債合計 | 53,085 | 54,581 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 10,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 4,941 | 4,345 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 7,601 | 7,601 |
| 引当金 | 52 | 38 |
| 退職給付に係る負債 | 1,163 | 1,237 |
| 資産除去債務 | 409 | 410 |
| その他 | 2,374 | 2,637 |
| 固定負債合計 | 26,543 | 26,270 |
| 負債合計 | 79,628 | 80,851 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,070 | 8,070 |
| 資本剰余金 | 2,075 | 2,075 |
| 利益剰余金 | 46,501 | 49,429 |
| 自己株式 | △1,198 | △1,199 |
| 株主資本合計 | 55,448 | 58,376 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,780 | 3,149 |
| 土地再評価差額金 | 17,255 | 17,255 |
| 為替換算調整勘定 | 1,628 | 1,354 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △382 | △217 |
| その他の包括利益累計額合計 | 21,282 | 21,542 |
| 非支配株主持分 | 3,933 | 4,636 |
| 純資産合計 | 80,664 | 84,554 |
| 負債純資産合計 | 160,293 | 165,406 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日） |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 89,078 | 103,465 |
| 売上原価 | 78,485 | 90,729 |
| 売上総利益 | 10,593 | 12,735 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,287 | 6,787 |
| 営業利益 | 4,306 | 5,948 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15 | 15 |
| 受取配当金 | 79 | 80 |
| 固定資産賃貸料 | 35 | 34 |
| 為替差益 | — | 61 |
| その他 | 24 | 29 |
| 営業外収益合計 | 154 | 221 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 178 | 185 |
| 為替差損 | 916 | — |
| その他 | 17 | 23 |
| 営業外費用合計 | 1,112 | 208 |
| 経常利益 | 3,348 | 5,961 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 32 | 1 |
| 保険差益 | 73 | — |
| 国庫補助金 | 160 | — |
| 特別利益合計 | 266 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6 | 68 |
| 固定資産売却損 | — | 11 |
| 固定資産圧縮損 | 126 | — |
| 特別損失合計 | 133 | 80 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,481 | 5,883 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,125 | 1,412 |
| 法人税等調整額 | 17 | 86 |
| 法人税等合計 | 1,143 | 1,498 |
| 四半期純利益 | 2,338 | 4,384 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 312 | 804 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,026 | 3,579 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,338 | 4,384 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 62 | 369 |
| 為替換算調整勘定 | △2,793 | △262 |
| 退職給付に係る調整額 | 81 | 164 |
| その他の包括利益合計 | △2,648 | 271 |
| 四半期包括利益 | △310 | 4,656 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △182 | 3,839 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △127 | 816 |

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日） |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,481 | 5,883 |
| 減価償却費 | 4,025 | 4,364 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △485 | △586 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 51 | 236 |
| 退職給付に係る資産の増減額（△は増加） | 109 | △130 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △95 |
| 支払利息 | 178 | 185 |
| 補助金収入 | △160 | — |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | △32 | 9 |
| 有形固定資産除却損 | 6 | 68 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,113 | △3,727 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △288 | 98 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △2,426 | 1,262 |
| その他 | 4,108 | 883 |
| 小計 | 9,586 | 8,452 |
| 利息及び配当金の受取額 | 96 | 96 |
| 利息の支払額 | △174 | △258 |
| 法人税等の還付額 | 18 | 0 |
| 法人税等の支払額 | △573 | △1,011 |
| 補助金の受取額 | 160 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,114 | 7,279 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1 | △1 |
| 定期預金の払戻による収入 | 361 | 222 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,869 | △4,188 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 373 | 3 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △15 | △15 |
| その他 | △129 | △102 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,281 | △4,082 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △1,959 | △479 |
| 長期借入れによる収入 | 1,566 | 186 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,181 | △660 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △0 | △113 |
| 配当金の支払額 | △651 | △651 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △1,403 | — |
| その他 | △93 | △69 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,724 | △1,788 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △413 | 9 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 694 | 1,418 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,422 | 20,198 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,116 | 21,616 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 関連事業 | 建設機械 関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 77,022 | 10,882 | 87,905 | 1,173 | 89,078 | — | 89,078 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 433 | 912 | 1,345 | — | 1,345 | △1,345 | — |
| 計 | 77,455 | 11,795 | 89,250 | 1,173 | 90,424 | △1,345 | 89,078 |
| セグメント利益 | 5,840 | 280 | 6,120 | 16 | 6,137 | △1,831 | 4,306 |

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,831百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,840百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 関連事業 | 建設機械 関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 86,788 | 15,650 | 102,438 | 1,026 | 103,465 | — | 103,465 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 611 | 1,271 | 1,882 | — | 1,882 | △1,882 | — |
| 計 | 87,399 | 16,921 | 104,321 | 1,026 | 105,347 | △1,882 | 103,465 |
| セグメント利益又は損失（△） | 6,603 | 1,230 | 7,834 | △10 | 7,823 | △1,875 | 5,948 |

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,875百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,866百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。